



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№12

令和3年7月15日

1年出前授業「かざぐるまづくり」



7月13日(火)の3,4限に落合さんに来校いただいて、1年生に「かざぐるまづくり」の授業をしていただきました。牛乳パックを2cmの幅に切ったものを2枚使って羽根を作り、ホッチキスを使ってつなぎ合わせてかざぐるまを作りました。ホッチキスを使うところは、担任や支援の先生にやってもらいましたが、順番を待つ子どもたちは、早く完成させてかざぐるまを回したい気持ちがいっぱい

いで、自分の番になるのを待ち遠しそうに並んでいました。早く出来上がった子どもたちが、扇風機やサーキュレーターの風にあててかざぐるまを回している様子は、とても楽しそうでした。おまけで、ぶんぶんゴマも作りました。出来上がったかざぐるまは、こわれないようにそっと家に持って帰りました。



6年出前授業～三重バイオレットアイリスを迎えて～



7月14日(水)の3,4限に三重バイオレットアイリスの選手の皆さんを迎えて、6年生がハンドボールの出前授業を受けました。4,5年生も同じようにハンドボールの出前授業を受けましたが、子どもたちには大変好評で、6年生でも実施しました。まず、準備体操から始まって、

ペアになってボールに慣れる練習をした後に、ドリブルやシュートなどの基本的な技術を教えてもらいました。ひと通り練習した後、チームに分かれてミニゲームを行いました。子どもたちは、初めは少し恥ずかしがっていましたが、ミニゲームでは積極的にプレイをしていました。4,5年生も同じように練習の後でミニゲームをしました



が、6年生のプレイは、スピードや迫力が違いました。最後に選手の皆さんから、「みんなが楽しんでくれたので私たちも楽しかったです。」という言葉もいただきました。三重バイオレットアイリスの皆さんは、これから国体に出場するなど試合に臨まれます。みんなので応援しましょう。

交通安全の取組 「まもってくれてありがとう運動」



学校だより No11 でお知らせしましたように、7月14日（水）の登校時に、「まもってくれてありがとう運動」の取組として、鈴鹿地区交通安全協会、若松地区交通安全協会、警察、地域づくりの方々に協力いただき、北門近くの交差点で、交通安全指導をしていただきました。登校し

てくる子どもたちは、警察の方の指示に従って、横断歩道を渡る時に一旦止まって左右の安全を確認し、手を挙げて横断していました。また、通学班の班長さんは、みんなが渡り切るのを待って、止まってくれた車の運転手さんに、「ありがとうございます。」とお礼を言い、会釈をして渡っていました。交通安全指導の前には、若松小学校が「まもってくれてありがとう運動」のモデル校として指定された指定書の贈呈式がありました。のぼり旗と横断指導旗もいただき、安全意識を高めるために活用していきます。7月20日（火）の終業式には、教育委員会と警察の方から交通安全についてお話をさせていただく予定です。今後もいろいろな機会をとらえて、交通安全の意識を高める活動や交通事故を起こさない取組を継続して行っていきます。



わくわく体験ニュースポーツ

7月10日（土）体育館において、わくわく体験ニュースポーツが行われました。各地区の体育指導員の方々にご指導いただき、約50名の参加者が「カローリング」と「ボッチャ」を楽しみました。「ボッチャ」はヨーロッパで生まれたスポーツで、パラリンピックの正式種目になっています。地域の学校体育施設を拠点として、簡単に取り組めるニュースポーツを親子で楽しみ、健康づくりや交流を図るのが目的です。

